



14年ぶりに開催 新宿区総合防災訓練

東京地方協力本部豊島出張所（所長 岩澤一尉）は11月9日、新宿区立四谷中学校において、第1普通科連隊第4中隊の支援を受け、新宿区が14年ぶりに開催する総合防災訓練に参加した。

本訓練は、警視庁四谷警察署、東京消防庁四谷消防署及び自衛隊のほか各機関やライフライン事業各団体がブースを開設して、災害時に使用する装備・器材の展示を行うとともに、「演習」として、震災後の消火・救出・搬送・応急救護に至る一連の行動を再現するなど、近隣の住民の方を対象として防災意識の高揚を図った。

自衛隊ブースでは、救助救出訓練として担架搬送や止血法の体験、高機動車及び偵察用オートバイの装備品展示、災害派遣セットの操作体験並びにVR体験を行った。来場者は隊員の説明を受けたり写真撮ったりして興味津々の様子であった。

特に装備品展示が大変好評で、偵察用オートバイにまたがりながら「排気量は何CCですか?」という質問や、「これで災害派遣に行くのですね。お疲れ様です。」など、応援をいただく場面もあり、自衛隊の活動をご理解頂けていると肌で感じることができた。

豊島出張所は、今後も地域のイベントに積極的に参加し、防災意識の高揚に貢献するとともに、幅広い層に自衛隊を認知していただくため、活動を継続するとしている。



帝京大学で卒業生との情報交換会に参加

自衛隊東京地方協力本部北地域事務所（所長 白岩一陸尉）は11月12日、板橋区に所在する帝京大学で開催された「卒業生との情報交換会」において、同大学卒業生（東部方面総監部 若生（わかこ）3佐）の薬剤官リクルータ支援を受けて採用広報活動を実施した。

帝京大学は、創立50年を超える伝統を有し、薬剤師はもとより、教員や研究者、政策官僚、起業家など多様な分野で活躍する人材を育成しており、本交換会は同大学4年生及び5年生を対象に、多数の企業等が参加して行われた。

リクルータは自衛隊の概要や自身の経験を踏まえた自衛隊薬剤官のキャリアパスについて丁寧に説明し、同大学卒業生の強みを生かして学校のあるあるやユーモアを交えた軽快なトークで場を和ませつつ聴講者の関心を引き寄せた。また、今年はコロナ禍における非対面のWeb形式から久しぶりの対面形式で開催されたこともあり、会場内は説明する側と聴講する学生側双方の熱意を肌で感じられる雰囲気は終始包まれていた。

聴講した学生からは「今回の説明会で自衛隊に薬剤関係の仕事があるのを初めて知って興味が沸いた」、「薬剤官の存在は知っていたが自衛官から直接話を聞けてとても参考になった」などの感想が聞かれ、自衛隊薬剤官に対する関心の高さが伺えた。

北地域事務所は、今後も学校側と連携して情報交換会や説明会を行い、自衛隊に対する理解と志願者の獲得を図っていくとしている。

